PubMed で日本語の論文が全記録に占める割合は、1989 年の 0.0294 から 2025 年の 0.0011 に下がった——日本語の論文のうち「英語の要旨」の出版形式が付いたものは 2015 年の 2,557 件から 2018 年の 23 件に落ち、2023 年に 1,806 件へ戻ったが、要旨のある日本語の論文は同じ年に 3,545 件から 2,299 件へ減っただけで、同じ出版形式は言語を問わず 2017 年に 2015 年の 0.0680 倍まで減っていた [M117]

「英語の要旨」の札が付いた数 = 要旨のある数 × 札の付く割合 ── 分けるのは、付けられた札で数えるか、記録の中身で数えるか

山岸 勇輝（Yuuki YAMAGISHI）／ 独立研究者
ORCID 0009-0006-8587-3450
2026 年 9 月 ／ CC BY 4.0

要旨

PubMed（U.S. National Library of Medicine）の件数を E-utilities で取り（2026 年 9 月 27 日）、日本語で書かれた論文（言語の欄が日本語）を 1975〜2025 年の出版年ごとに数え、要旨の有無、「英語の要旨」の出版形式、日本の所属と重ねた。日本語の論文の多い少ないの良し悪しや、研究の質は論じない。新しい数学的定理も新しい法則も主張しない。

第一に、**日本語の論文は 1975 年の 7,041 件（全記録の 0.0282）から 1989 年の 11,851 件（0.0294）が最多で、2025 年は 2,039 件（0.0011）だった**（第 4 節）。

第二に、これが本稿の芯である。**日本語の論文のうち「英語の要旨」の出版形式（english abstract）が付いたものは、2015 年の 2,557 件から 2018 年の 23 件に落ち、2023 年に 1,806 件へ戻った。ところが要旨のある日本語の論文（hasabstract）は、2015 年の 3,545 件から 2018 年の 2,299 件へ減っただけで、2023 年は 1,806 件だった**（第 5 節）。

第三に、**同じ「英語の要旨」の出版形式は、言語を問わず 2015 年の 18,937 件から 2017 年の 1,287 件（0.0680 倍）に減り、2023 年に 23,594 件へ戻っていた。日本語の論文だけに起きたことではない。要旨のある日本語の論文のうち札の付いた割合が 0.05 未満だったのは、2017〜2021 年の 5 年だった**（第 5 節）。

第四に、**所属の札も年によって付き方が違った。日本の所属を持つ記録は 1986 年の 536 件から 1987 年の 6,551 件、1988 年の 14,657 件へ跳ね、日本語の論文のうち日本の所属を持つ割合は 2013 年の 0.376 から 2014 年の 0.112 へ落ちた**（理由は確かめていない・第 6 節）。

第五に、**札で数えた数の動きは、札の付き方の動きを含む。「英語の要旨のある日本語の論文が 2017 年に消えた」とは、要旨の有無で数えると言えない**（第 5 節）。

第六に、分けるのは **付けられた札で数えるか、記録の中身で数えるか** である。PubMed で「〜の論文が減った（増えた）」と聞いたら、それが出版形式・所属などの札で数えた数か、記録の中身で数えた数かを確かめる。

射程注記：本稿は新しい数学的定理も新しい法則も主張しない——件数は PubMed で公開されており、本稿は数えて並べただけである。**本稿は公開の集計データの数の形を述べる構造的解釈であり、医学的な助言・診断・治療の推奨ではない。著者は医師ではない。個人の健康に関する判断は医師・医療機関に相談すること。査読を経ていないプレプリントである。 日本語の論文の多い少ないの良し悪しや、研究の質・価値を論じない。特定の論文・雑誌・出版社・著者・研究機関を名指さない。** PubMed に載るのは PubMed が収める雑誌の記録で、日本語で書かれた論文のすべてではない。**札の付き方が変わった理由（出版形式の付け方、所属の入れ方、収める雑誌の変化など）は確かめていない。** 要旨の言語は記録ごとには確かめていない。件数は取得した時点のもので、日々変わる。**データについて**：Courtesy of the U.S. National Library of Medicine。件数は 2026 年 9 月 27 日に取得した時点のもので、NLM の最新・最も正確なデータを反映していない。NLM は本稿を推奨していない。本稿が加えるのは、**「英語の要旨」の出版形式で数えた数と、要旨の有無で数えた数が 2017〜2021 年に大きく離れることを示し、その離れが日本語の論文に限らないことを示したこと**である。

---

1. 記号と問い

- **日本語の論文**：`japanese[la]`（言語の欄が日本語の記録）。PubMed User Guide は、言語の欄は論文が出版された言語で、「多くの英語以外の論文には英語の要旨がある」と書いている。
- **要旨あり**：`hasabstract`。User Guide の「Abstract」の絞り込みそのもの（検索の欄の札は要らない）。
- **「英語の要旨」の出版形式**：`"english abstract"[pt]`。出版形式として記録に付く札。
- **日本の所属**：`japan[ad]`（所属の欄に Japan の語がある記録）。User Guide は、所属は出版社が出した場合に入り、2014 年からは複数の著者の所属が入り、それ以前は筆頭著者の所属だけだったと書いている。

問い：日本語の論文は、どれだけ減ったか。「英語の要旨のある日本語の論文」を数えると、札で数えるか中身で数えるかで違うか。

---

2. 下見と設計

正直に書く：設計は、本取得の数を見てから足した。

	内容
データ	PubMed E-utilities の件数（1975〜2025 年の 51 年 × 5 通りの本取得 255 回、51 年 × 2 通りの追加取得 102 回）、PubMed User Guide
本取得で気づいたこと	日本語の論文のうち「英語の要旨」の出版形式が付いたものが、2015 年 2,557 件から 2018 年 23 件に落ち、2023 年に戻っていた
そこで足したもの	要旨の有無（hasabstract）で数え直す問い合わせと、言語を問わず同じ出版形式を数える問い合わせ
本取得で気づいたこと（2）	日本の所属を持つ記録が 1986 年から 1988 年に跳ねていた
比べたもの	日本語の論文の数と割合、要旨あり、「英語の要旨」の出版形式、日本の所属

---

3. データと確かめ

計算 3.1 取得した件数の JSON 2 本・取得の道具 2 本・User Guide の写しの 5 本を SHA-256 で固定し、次を確かめた。検算は保存した JSON だけから計算し、PubMed には問い合わせない。

- 本取得 255 回（2026 年 9 月 27 日 02:14:34〜02:18:29）と追加取得 102 回（02:21:44〜02:23:17）がそろう。
- 読み替えに、出版日の範囲と、言語（"japanese"[Language]）・所属（"japan"[Affiliation]）・出版形式・要旨ありが種類どおりに入る。**正直に書く**：所属の読み替えを引用符なしで照

合する検査を書き、一度落ちた。

- 警告は件数 0 の問い合わせの「No items found」だけで、式の読み違いを示す警告は 0 回。
- User Guide の写しに、言語と所属の欄の原文と、hasabstract が「Abstract」の絞り込みそのものだという原文がある。
- 部分集合の向き（日本語かつ〜 ≤ 日本語 ≤ 全部 など）がすべて成り立つ。

---

4. 日本語の論文の数

観察 4.1：**日本語の論文は 1975 年の 7,041 件（全記録の 0.0282）から、1989 年の 11,851 件（0.0294）が最多で、2025 年は 2,039 件（0.0011）だった。** 2016 年の 5,534 件から 2017 年の 3,242 件へは、一年で大きな段差がある。その理由は件数からは分からない。すべての年は検算の出力にある。

---

5. 芯 ── 付けられた札で数えるか、記録の中身で数えるか

計算 5.1 日本語の論文の「英語の要旨」の出版形式と要旨あり、言語を問わない同じ出版形式

出版年	日本語かつ「英語の要旨」の出版形式	日本語かつ要旨あり	出版形式 ÷ 要旨あり	言語を問わず「英語の要旨」の出版形式
2013	2,869	3,644	0.787	29,878
2015	2,557	3,545	0.721	18,937
2016	701	3,533	0.198	5,099
2017	46	2,513	0.018	1,287
2018	23	2,299	0.010	1,381
2021	29	2,002	0.014	1,773
2022	623	1,953	0.319	8,251
2023	1,806	1,806	1.000	23,594
2025	1,581	1,581	1.000	21,739

観察 5.2：日本語の論文のうち「英語の要旨」の出版形式が付いたものは、**2015** 年の **2,557** 件から **2018** 年の **23** 件に落ち、**2023** 年に **1,806** 件へ戻った。要旨のある日本語の論文は、**2015** 年の **3,545** 件から **2018** 年の **2,299** 件へ減っただけだった。要旨のある日本語の論文のうち札の付いた割合が **0.05** 未満だったのは、**2017〜2021** 年の **5** 年である。

観察 5.3：同じ出版形式は、言語を問わず **2015** 年の **18,937** 件から **2017** 年の **1,287** 件（**2015** 年の **0.0680** 倍・**2010** 年以降で最少）に減り、**2023** 年に **23,594** 件へ戻った。 日本語の論文だけに起きたことではなく、出版形式の札の付き方の動きである。なぜそう動いたかは、本稿では確かめていない。

観察 5.4：札で数えた数の動きは、札の付き方の動きを含む。 「英語の要旨のある日本語の論文が 2017 年に消えた」とは、要旨の有無で数えると言えない。ただし、要旨の言語は記録ごとには確かめていない。

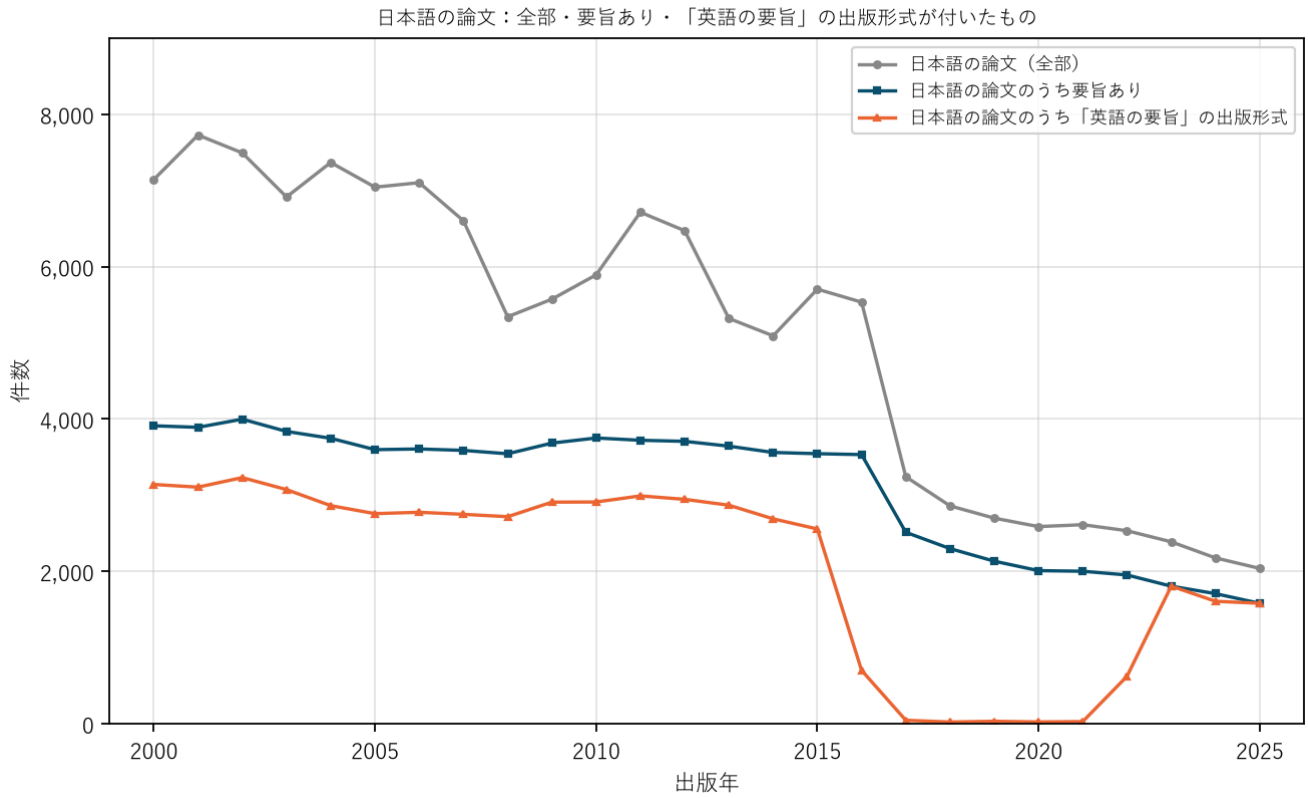


図1：日本語の論文の全部（灰）、そのうち要旨あり（紺）、そのうち「英語の要旨」の出版形式が付いたもの（橙）（2000〜2025 年）。

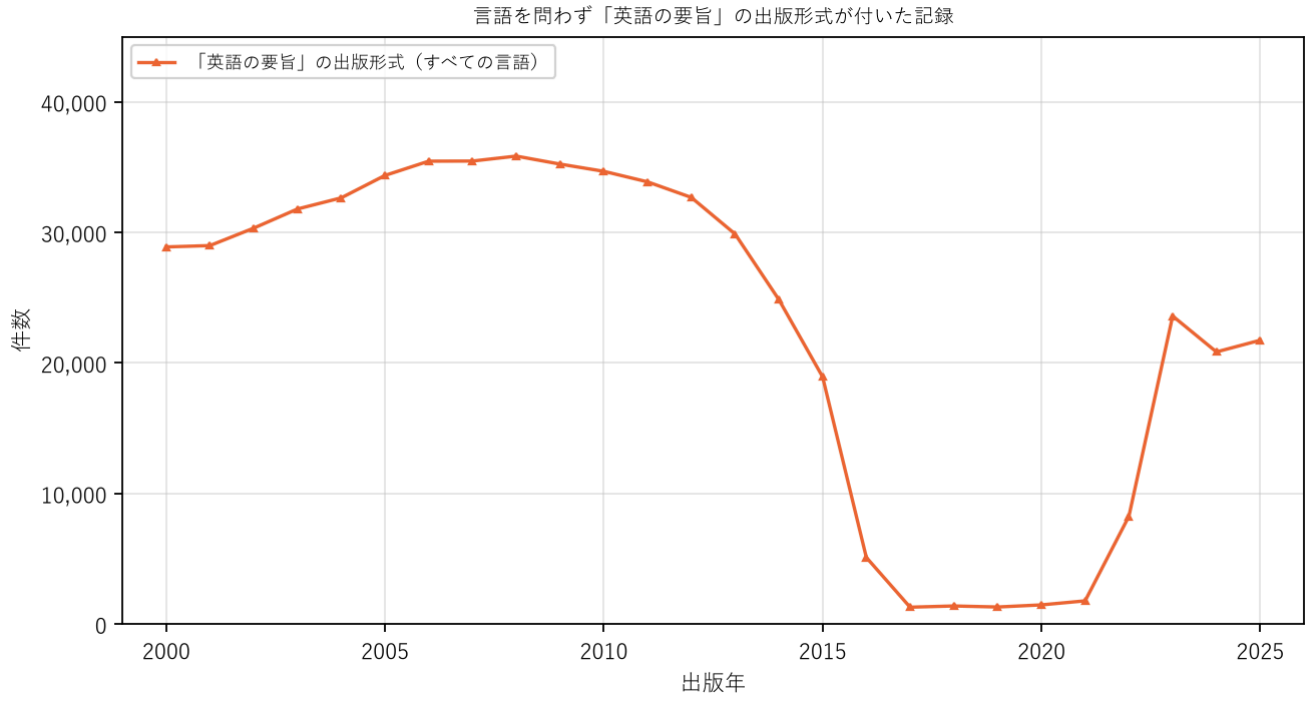


図2：言語を問わず「英語の要旨」の出版形式が付いた記録の数（2000〜2025 年）。

6. 所属の札

観察 6.1：**日本の所属を持つ記録は、1984 年 259 件・1985 年 343 件・1986 年 536 件から、1987 年 6,551 件・1988 年 14,657 件へ跳ねた。** 1986 年以前の出版年では、所属の札が付いた記録がほとんど数えられない。

観察 6.2：**日本語の論文のうち日本の所属を持つ割合は、2012 年の 0.412・2013 年の 0.376 から、2014 年の 0.112・2015 年の 0.092 へ落ち、2025 年は 0.106 だった。** User Guide は 2014 年から複数の著者の所属が入ったと書いているが、この落ちとどう関わるかは、本稿では確かめていない。所属で「日本の論文」を数えるときは、年によって札の付き方が違うことを前提にする。

---

7. 既刊との関係

M004 は、PubMed の件数が何を数えているかによって「論文の増え方」が変わることを示した。M112 は、無料で読める論文の割合を二つの札（PMC にあるか、PMC の外で無料か）で分けた。M116 は、撤回を二つの年で数え、年ごとの数を足すと同じ記録が二度数えられることを示した。本稿は、札で数えた数と記録の中身で数えた数が離れる例を、日本語の論文で示した。

---

8. 限界

1. **日本語の論文の多い少ないの良し悪しや、研究の質・価値を論じない。**
2. PubMed が収めるのは一部の雑誌で、日本語で書かれた論文のすべてではない。
3. 出版形式や所属の札の付き方が変わった理由は確かめていない。
4. 要旨の言語は記録ごとには確かめていない。
5. 年ごとの数には、同じ記録が二つの年に数えられる重なりがありうる（M116）。件数は 2026 年 9 月 27 日の時点のもので、日々変わる。

結び

PubMed で日本語の論文が全記録に占める割合は、1989 年の 0.0294 から 2025 年の 0.0011 に下がった。そのうち「英語の要旨」の札で数えると、2017〜2021 年にほとんど消えたように見えるが、要旨の有無で数えると、なだらかに減っただけだった。同じ札は、言語を問わず同じ年に減って戻っていた。札で数えた数は、札の付き方の動きを含む。

分けるのは一つ——付けられた札で数えるか、記録の中身で数えるかである。

PubMed で「〜の論文が減った（増えた）」と聞いたら、**それが出版形式や所属などの札で数えた数か、記録の中身で数えた数かを確かめる。** 札で数えるときは、**同じ札が年によって同じように付いているかを、別の数え方で確かめる。**

データと再現

データ	PubMed（U.S. National Library of Medicine）の E-utilities（esearch）で取った件数と読み替えの式（2026 年 9 月 27 日 02:14:34〜に取得・Courtesy of the U.S. National Library of Medicine）。PubMed User Guide
利用条件	NLM Terms and Conditions（利用は無料・出典を明記・NLM の推奨を示唆しない・最新のデータでないことを明記）
範囲	出版年 1975〜2025 の PubMed の記録。日本語の論文・要旨あり・「英語の要旨」の出版形式・日本の所属
検算	`検算/M117.py`（`--zu` で図も描く）。本文の数はすべて `検算/M117_output.txt` から取った
生データ	`data/pubmed_m117_20260927.json`・`data/pubmed_m117_extra_20260927.json`、取得の道具 `data/fetch_pubmed.py`・`data/fetch_pubmed_extra.py`、`data/pubmed_userguide_20260927.html`、`data/SOURCES.md`（利用条件・SHA-256・原文の抜き書き）
図	`図/M117_zu1`・`図/M117_zu2`（png・svg・英語版）

参考文献

- U.S. National Library of Medicine. PubMed（E-utilities, esearch）. Courtesy of the U.S. National Library of Medicine（2026年9月27日に取得）. https://eutils.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/eutils/
- U.S. National Library of Medicine. PubMed User Guide（2026年9月27日に利用）. https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/help/
- 山岸勇輝 (2026). 「医学論文は約 15 年で倍になる」は、何を数えるかで答えが変わる [M004]. Zenodo. https://doi.org/10.5281/zenodo.22963542
- 山岸勇輝 (2026). 無料で全文が読める論文の割合は、1990 年出版の 0.118 から 2025 年出版の 0.643 に上がった——その中身は、1996〜2006 年は PMC の外で無料の記録（2004 年 0.124）が PMC にある記録（0.088）より多く、2007 年からは PMC にある記録が多くなった（2025 年 0.552 対 0.092）。膵臓がんの論文では、2008 年出版の 2,402 件のうち、いま無料で全文が読めるのは 0.261 である [M112]. Zenodo（未公開）.
- 山岸勇輝 (2026). 撤回された論文を元の論文の出版年で数えると、2022 年の 7,133 件が最多で、2025 年は 1 万件あたり 5.40 件（2022 年の 0.135 倍）と最近の年ほど少なく見える——撤回を告げる告知を告知の年で数えると最多は 2023 年の 8,030 件で、件数の真ん中の年は、撤回された論文が 2020 年、告知が 2023 年である。年ごとの数を足すと、同じ記録が二つの年に数えられて 1.1069 倍になる [M116]. Zenodo（未公開）.